

『630調査』のこれまでどおりの公開を

～精神病院の閉鎖性を打ち破るために～

2019年7月21日(日)みんなの会議学習会

東京都地域精神医療業務研究会 木村朋子

# 東京都地域精神医療業務研究会とは

東京地業研は1973年全国精神衛生実態調査に反対し、患者調査よりは  
**精神病院調査をと主張。**

地業研が問題としてきたことは

- 精神科病院の偏在＝23区に少なく多摩地域に偏在 23区の人には西の病院に入院し、退院→通院医療の継続が困難
- 一般科との精神科病院差別 少ない職員配置基準

# 東京都に精神病院情報公開申し立て

- 1985年東京都情報公開条例ができたことを機に、「東京都精神病院統計」(当時の名称)の開示請求をして、都が非開示。
- 非開示理由：病院の不利益になる・国が開示は適切ではないと指導・病院と都の信頼関係が失われ、正確な情報が得られなくなる。

# 情報公開裁判

- 1987年9月 非開示決定取消請求裁判を起こした。
- 1989年裁判所のすすめにより和解
- 同様の裁判で京都地裁の判決（1999年10月）趣旨は「精神病院は（一般科の病院と違って、行動制限の権限もあるので）高い公益性が要請されており、（公開に伴う）影響は病院が受忍すべき範囲」というもの。

# 東京精神病院事情（ありのまま）出版

- 開示された情報をもとに「東京精神病院事情」を出版。1989年の初刊以来、2015年統計に基づく最新刊まで7冊出して来た。

# 初めて情報公開されたローテータ陽和病院1987年-1

陽和

## 精神病院統計

病院名 陽和病院

病院番号			表番号	
01	02	03	04	05
0	1	7	0	1

### 第1表 施設表

(第1表の1)

項目	施設名	経営主体	病院名(フリガナ)	病院管理者氏名	院長	所在地	記載者氏名
06	07						
0	1	医療法人社団一陽会	陽和病院	島成郎	島成郎	練馬区大泉町 〒177-1 TEL (923) 0221	(内線)

提出

(第1表の2)

項目	甲表・乙表の別	基準看護	基準給食	基準寝具	作業療法用施設 (床面積)	精神科ディケア
06	07					
0	2	(1) 甲 (2) 乙 (3) 無	(1) 特 (2) 特 (3) 1 (4) 2 (5) 3 (6) 無	(1) 有 (2) 無	(1) 有 (2) 無	(1) 施設基準で実施 (㎡) (2) 施設基準外で実施 (㎡) (3) 実施していない

(第1表の3)

項目	区分	総病床数	内訳	
			精神病床数	その他(他科)
06	07			
0	3	今期末 (S 62.12.31 現在)	552	552



(第1表の4)

項目	区分	精神科に勤務する医師数						精神科に勤務する職員数						
		鑑定医		精神科医		その他		看護婦 (士)	准看護婦 (士)	看護助手	臨床心理担当者	精神医学的ソーシャルワーカー	作業療法担当者	その他
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤							
06	07													
0	4	今期末 (S 62.12.31 現在)	3	5	8						2	2		

# 初めて情報公開されたローテータ陽和病院1987年-2

## 精神病院統計

病院名 陽和病院

病院番号		
01	02	03
0	1	7

表番号	
04	05
0	2

第2表 精神病院管理別病床数

(第2表)

提出用

区 分	項目	合計(A) (A=B+C+D)		一般精神病室(B)		保護室(C)		専 門 病 床								備 考		
		病棟	病床	病棟	病床	病棟	病床	老 人(ア)		児 童(イ)		酒 精 中 毒(ウ)		合 併 症(エ)			そ の 他(オ)	計(D)
								病棟	病床	病棟	病床	病棟	病床	病棟	病床		病棟	病床
開放病床	木造	0	1															
	非木造	0	2															
	計	0	3															
半開放病床	木造	0	4															
	非木造	0	5															
	計	0	6															
閉鎖病床	木造	0	7															
	非木造	0	8															
	計	0	9															
合 計	木造	1	0															
	非木造	1	1	8	552	8	504											21
	計	1	2	8	552	8	504											21

# 初めて情報公開されたローテータ陽和病院1987年-3

## 精神病院統計

病院名 陽和病院

病院番号		
01	02	03
0	1	7

表番号	
04	05
0	3

第3表 精神病院費目別患者数

区分	項目 06 07	精神衛生法						社会保険						国民健康保険						老人保健法			生活保護法						自費			その他			合計		
		男		女		計	本人		家族		計	世帯主		その他		計	併給		単給		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
前期末患者数(A)	01	1	2	3	13	2	15	25	17	42	20	20	40	49	47	96				136	150	286	18	10	28	1	1	2				286	177	463			
入院患者数(B)	02	2	13	15	23	23	46	22	33	55	55	16	71	50	34	84				266	80	346	2	2	4	2	2	4				331	167	498			
内訳	新入院	03	12	2	14	19	19	38	7	9	16	14	7	21	18	9	27				49	24	73							119	51	170					
	再入院	04	1	1	2	4	4	8	15	24	39	41	9	50	32	25	57				117	56	173	2	2	4	2	2	4	212	116	328					
退院患者数(C)	05	12	3	15	24	1	25	26	28	54	44	11	55	53	40	93				172	86	258	4	2	6	1	1	2				336	171	507			
内訳	全治	06																																			
	軽快	07	11	3	14	21	1	22	20	24	44	35	9	44	44	34	78				154	78	232	4	2	6	1	1	2	290	151	441					
	未治	08	1	1	2	3	6	9	4	10	14	7	2	9	8	5	13				18	7	25							43	18	61					
	死亡	09										2	2	4	1	1	2				1	1	2							3	2	5					
今期末患者数(D) (D=A+B-C)	10	2	1	3	12	1	13	24	22	46	51	25	76	46	41	87				130	73	203	14	10	24	2	2	4				281	173	454			

病院番号		
01	02	03
0	1	7

表番号	
04	05
0	4

第4表 精神病院費目別在院期間別患者数

区分	項目 06 07	総数	3ヶ月未満	3ヶ月~6ヶ月未満	6ヶ月~12ヶ月未満	1年~2年未満	2年~3年未満	3年~4年未満	4年以上
			精神衛生法	01	3	3	0		
社会保険	02	59	15	5	6	4	1	3	36
国民健康保険	03	163	17	10	16	15	9	4	116
老人保健法	04								
生活保護法	05	227	34	20	23	21	19	14	96
自費	06	2	1					1	
その他	07								
合計	08	454	72	35	45	40	29	22	211

病院番号		
01	02	03
0	1	7

第5表 保護義務者別同意入院患者数及び自由入院患者数

表番号	
04	05
0	5

区分	項目 06 07	患者数	
			同意入院患者(A)
内訳	後見人	02	3
	配偶者	03	25
	親権者	04	2
	扶養親族	05	268
	区市町村長	06	9
	自由入院患者(B)	07	144
合計(A+B)	08	451	

提出用

# 初めて情報公開されたローテータ陽和病院1987年-4

精神病院統計

病院名 陽和病院

病院番号		
01	02	03
0	1	7

表番号	
04	05
0	6

第6表 精神病院病名別患者数

(第6表)

提出用

区分	項目 06 07	前期末(A)			入院患者数(B)			退院患者数												今期末(D) (D=A+B-C)						
		男	女	計	男	女	計	全治			軽快			未治			死亡			計(C)	男	女	計			
								男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計					男	女	計
精神分裂病	0 1	177	128	305	139	79	218				114	159	17	26				1	1	2	132	85	217	184	122	306
躁うつ病	0 2	16	5	21	25	24	49				27	19	46	2	2	4				29	21	50	12	8	20	
てんかん	0 3	9	3	12		1	1				2	3	5	3	1	4				5	4	9	4		4	
脳精神 器 質 障 害	総数	0 4	4		4	2	2				1		1							1		1	2	2	5	
	痴呆性疾患	0 5																								
	アルツハイマー型	0 6																								
	脳血管障害型	0 6	2		2						1		1							1		1	1		1	
	その他	0 7																								
その他	0 8	2		2	2	2																	2	2	4	
その他の精神病	0 9	60	24	84	56	19	75				59	17	76	4	1	5				63	18	81	32	25	57	
中精神 毒 障 害	総数	1 0	23	4	27	27	17	44				57	14	71	12	2	14	1		1	70	16	86	32	5	37
	アルコール中毒	1 1	3	1	4	5	7	12				44	6	50	9	1	10	1		1	54	7	61	28	1	29
	覚せい剤中毒	1 2	1	1	2	2	3	5				6	3	9	1		1				7	3	10	2	1	3
	その他の中毒	1 3	1	2	3	10	7	17				7	5	12	2	1	3				9	6	15	2	3	5
精神発達遅滞	1 4		3	3	5	1	6				3	1	4							3	1	4	2	3	5	
精神病質	1 5				1	1					1	1								1	1					
精神神経症	1 6	3	8	11	32	20	52				21	21	42	5	1	6	1	1	2	27	23	50	8	5	13	
その他	1 7	4	2	6	4	4	8				5	1	6	2	2					5	3	8	2	3	6	
合計	1 8	235	177	412	331	167	498				240	151	391	43	18	61	3	2	5	336	171	507	281	173	454	

項目	外来患者延数
06 07	
1 9	14,596

62年1月1日から  
62年12月31日まで  
0.0022

項目	外来患者実数
06 07	
2 0	956

62年12月1日から  
62年12月31日まで

# 初めて情報公開されたローテータ陽和病院1987年-5

精神病院統計

病院名 陽和病院

病院番号		
01	02	03
0	1	7

表番号	
04	05
0	7

第7表 精神病院病名別年齢別患者数

(第7表)

区分	項目	合計	0~9歳	10~19歳		20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳		70~79歳	80歳以上
				10~17歳	18~19歳					60~64歳	65~69歳		
				06	07								
精神分裂病	01	306			1	17	71	110	61	24	10	12	
躁うつ病	02	20				2	3	7	1	1	3	3	
てんかん	03	4					1	1	1	1			
脳精神器質障害 性害	総数	04	5						2	2		1	
	アルツハイマー型	05											
	脳血管障害型	06	1							1			
	その他	07											
	その他	08	4						2	1		1	
その他の精神病	09	58			7	3	12	21	10	5	2	5	
中精神毒障害 性害	総数	10			1	1	8	11	7	5	2	2	
	アルコール中毒	11					6	10	6	4	2	1	
	覚せい剤中毒	12					2	1					
	その他の中毒	13			1	1			1	1		1	
精神発達遅滞	14	5					1	4					
精神病質	15												
精神神経症	16	13				3	4	2	4				
その他	17	6				1		2	1	1	1		
合計	18	454			2	27	100	158	87	39	12	23	

提出用

# 初めて情報公開されたローテータ陽和病院1987年-6

## 精神病院統計

病院名 陽和病院

病院番号		
01	02	03
0	1	7

表番号	
04	05
0	8

第8表 措置患者病名別収容数

(昭和62年1月1日～12月31日)

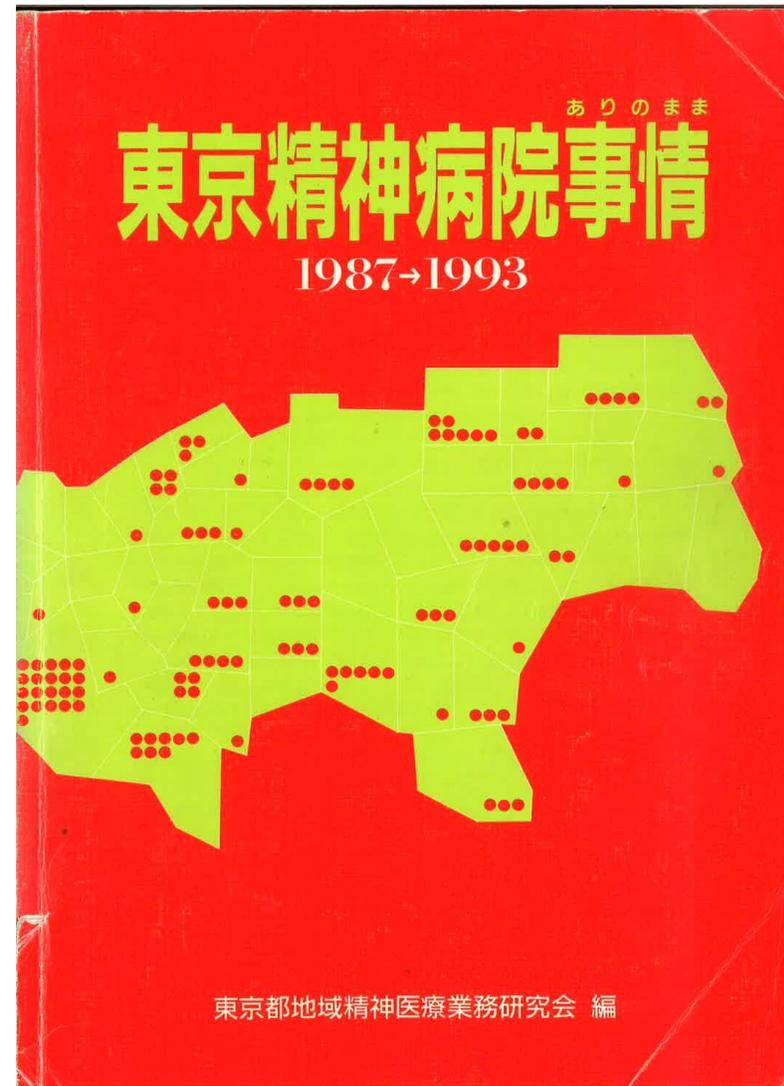
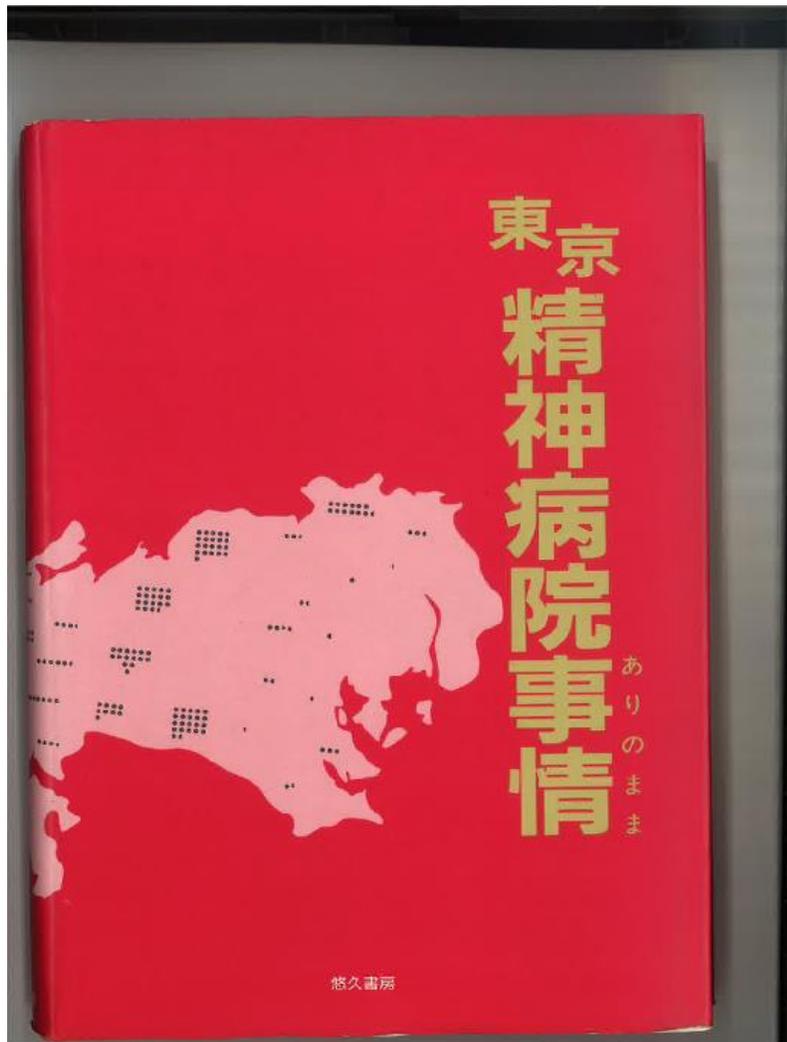
提出用

区分	項目 06 07	措置患者収容数				
		前期末患者数	入院患者数	退院患者数	今期末患者数	仮退院者数
精神分裂病	0 1	2	9	9	2	1
躁うつ病	0 2					
てんかん	0 3					
脳精神器質障害性害	総数	0 4				
	アルツハイマー型	0 5				
	脳血管障害型	0 6				
	その他	0 7				
	その他	0 8				
その他の精神病	0 9		1	1		
中精神毒障性害	総数	1 0	4	3	1	
	アルコール中毒	1 1	1	1		
	覚せい剤中毒	1 2	3	2	1	
	その他の中毒	1 3				
精神発達遅滞	1 4					
精神病質	1 5		1	1		
精神神経症	1 6	1		1		
その他	1 7					
合計	1 8 ※	3 ※	15 ※	15 ※	3 ※	1 ※

# これまでの東京精神病院事情

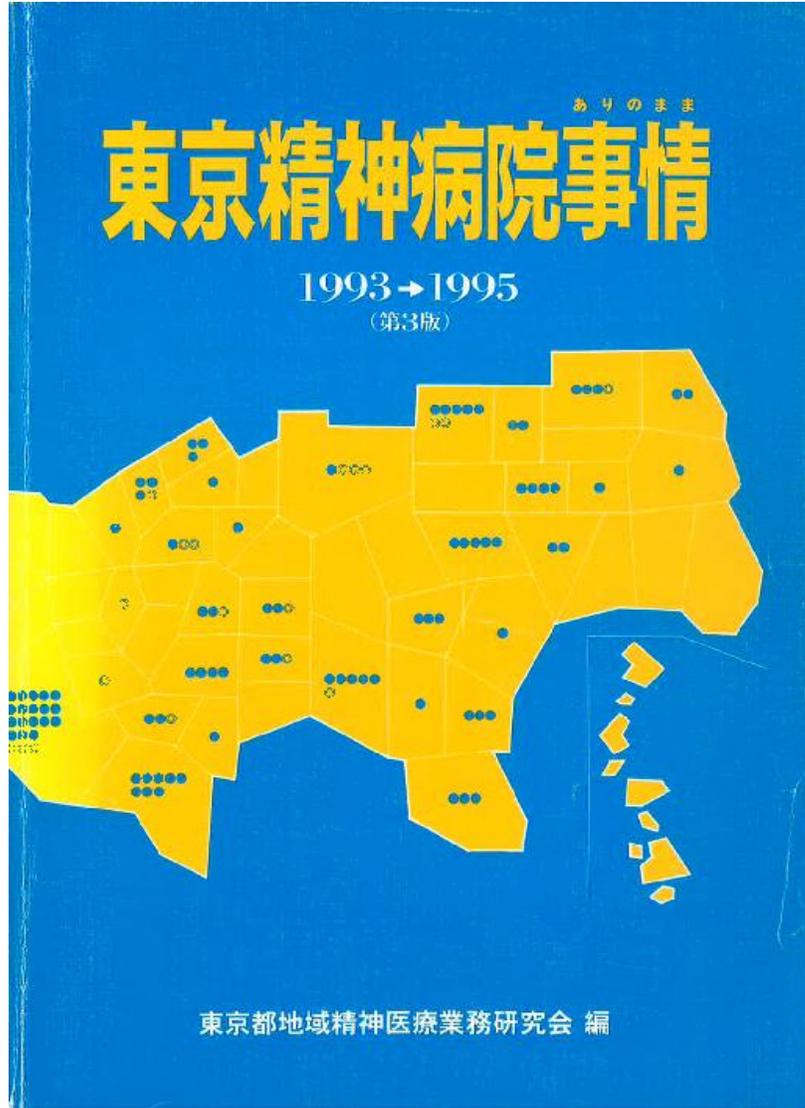
第1刊 1989年発刊

第2刊 1995年 発刊

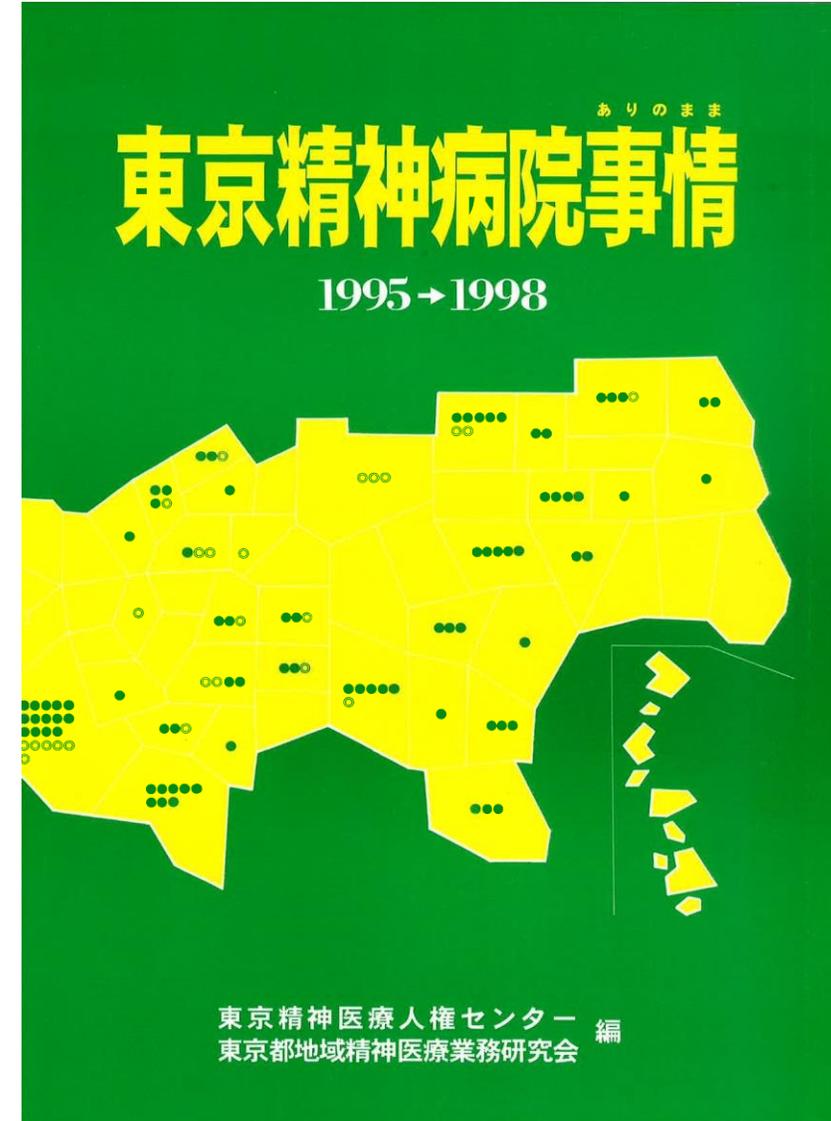


# これまでの東京精神病院事情

第3刊 1997年 発刊



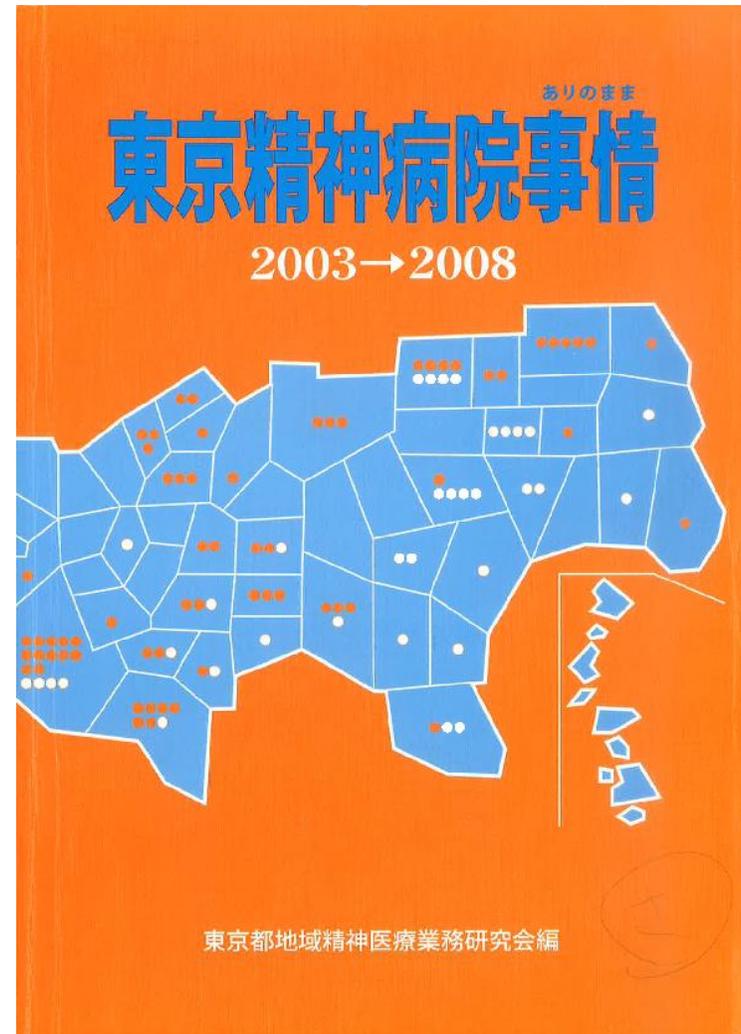
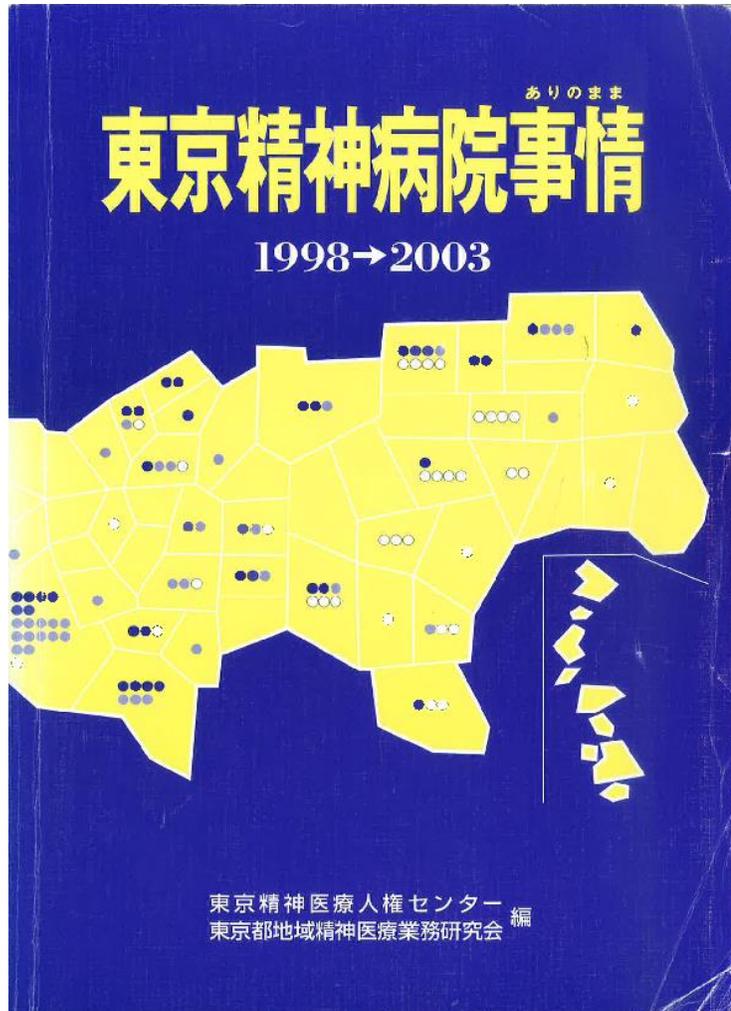
第4刊 2000年 発刊



# これまでの東京精神病院事情

第5刊 2005年発刊

第6刊 2010年 発刊



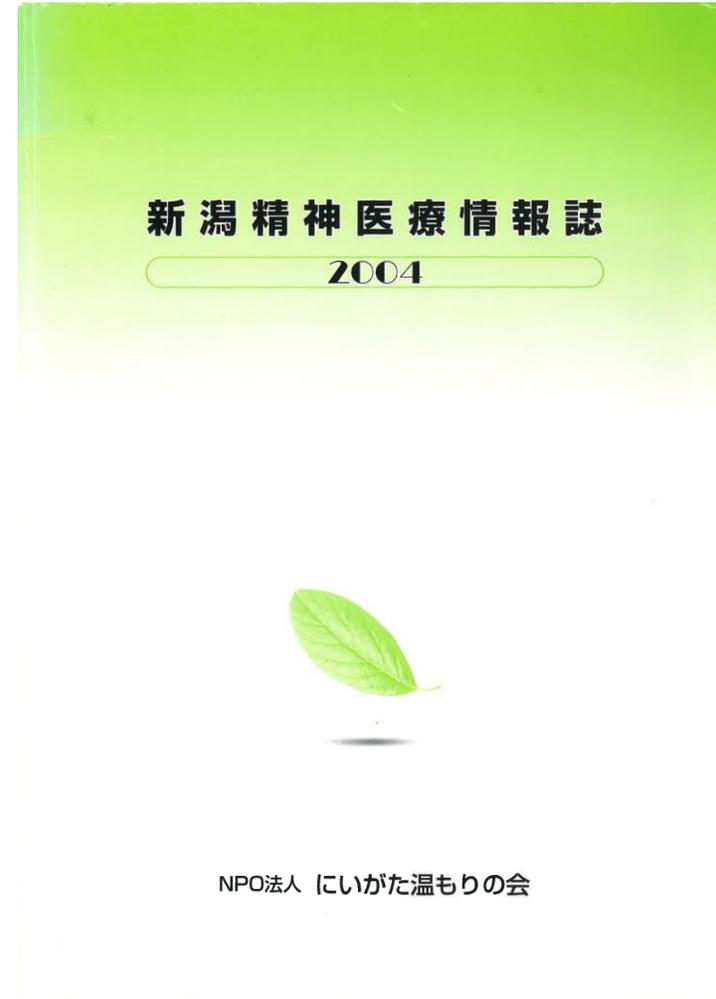
# 最新版東京精神病院事情

2017年 発刊



# 大阪精神病院事情ありのまま

# 新潟精神医療情報誌

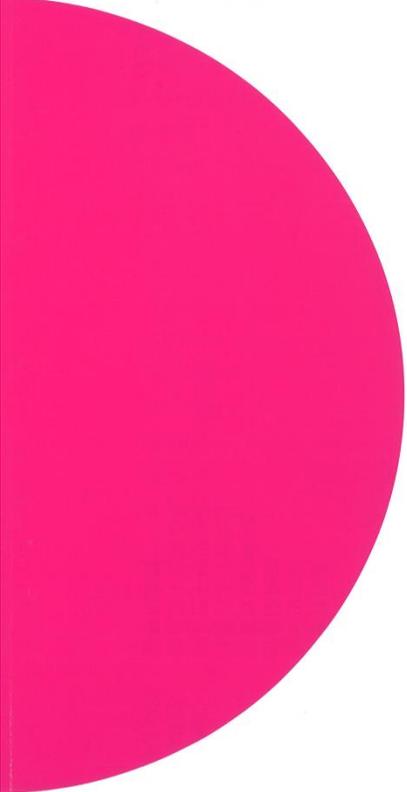


# 埼玉の精神科病院



## 2016年病地学会多摩大会実行委員会の訪問調査をまとめた情報誌

東京多摩地区 **精**  
**神科病院情報誌**  
2016



文部科学省  
地(知)の拠点

# 「東京精神病院事情」

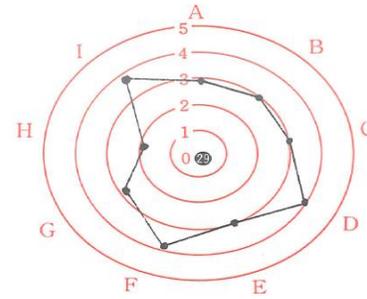
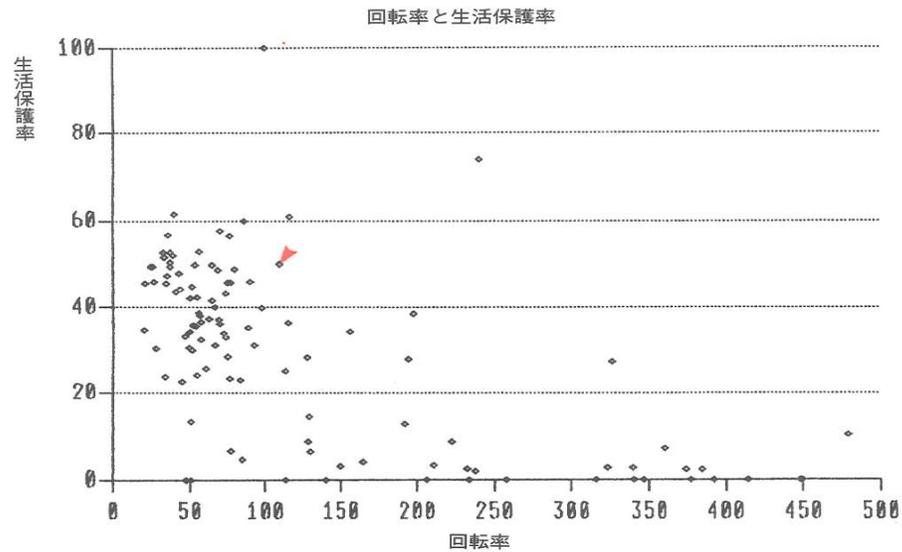
- 「東京精神病院事情」は、個別病院の統計表から、マンパワー、入院期間などを指標として点数化し、各病院の特徴、すなわち病棟の開放・閉鎖の率や立地の便、また入院者の年齢や病名、入院形態別の構成、死亡退院の率や生活保護受給率などを病院ごとに明らかにしてきた。
- 練馬区内の陽和病院を例にとってみてみる。

# 東京精神病院事情第1刊 (1987年統計に基づく陽和病院の頁)

陽和病院		島 成郎	
177	練馬区大泉町2-17-1	923-0221	552

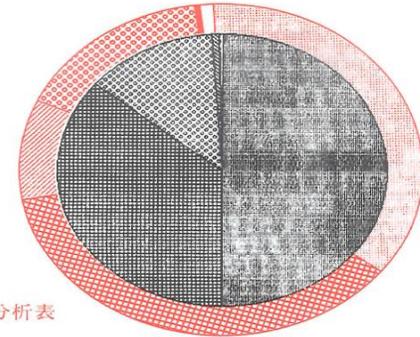
分裂病率と生活保護率の高い単科病院の中で、100%を超える回転率、30%を超える自由入院率、71.3%の開放率は目立って高いものである。8病棟552床の内27床が保護室。

練馬区、西武池袋線石神井公園駅からバス10分と、交通の便はさほど悪いわけではないが、開放的運営の割には外来がそれほど多くないが目立つ。年齢層では、都平均と比して30~40歳代が多く、若めである。アルコール病床を持ち、デイケアを実施している。



- A ベッド回転率
- B 3ヵ月未満入院者率
- C 4年以上入院者率
- D 死亡退院率
- E 常勤医師1人あたりベッド数
- F 看護基準
- G コメディカル職員1人あたりベッド数
- H 1ベッド当たり外来数
- I 自由入院率

入院者費目別分析表



1) 費目別分析(%)

- 生活保護
- 国民健康保険
- 老人保健法
- 社会保険
- 精神衛生法
- 自費
- その他

入院者疾病別分類表

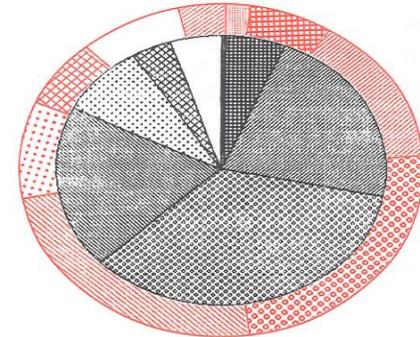
2) 疾病別分類

- 精神分裂病
- そううつ病
- てんかん
- 脳器質
- その他精神病
- 中毒性精神障害
- 精神薄弱
- 神経症
- 精神病質
- その他

3) 年齢別

- ~19才
- 20~29才
- 30~39才
- 40~49才
- 50~59才
- 60~64才
- 65~69才
- 70~79才
- 80才以上

入院者年齢別表



# 東京精神病院事情第4刊 (2000年発刊)の陽和病院の頁その1

訪問調査に協力していただいた35病院陽和病院

## 陽和病院 医療法人(社) 指定病院(10床)

練馬区大泉町2-17-1 TEL03-3923-0221 FAX03-3923-3955

設立年:1958年

精神病床数441床

開放病棟:6棟374床 個別開放処遇病棟:1棟34床 閉鎖病棟:1棟33床

保護室:23床

大規模デイケア、デイナイトケア実施

関連施設:介護老人保健施設 訪問看護ステーション グループホーム 居宅介護支援センター

### 訪問レポート

#### ■訪問日

2000年2月5日

#### ■見学病棟

開放病棟2、閉鎖病棟1、(いずれも混合病棟)計3病棟

#### ■立地条件

西武池袋線石神井公園駅または東武東上線成増駅からバス15分、バス停から徒歩5分。付近に小さな畑も残る住宅地の中にある。近辺の道路が狭く、バス道路から奥へ入るので場所が判りづらい。

#### ■建物と病院の様子

建物の外観は、鉄格子がなく一般病院と変わらない印象をうける。

玄関と外来棟はリニューアールされ明るい雰囲気となっている。外来棟には喫茶室があり、テラスでコーヒーを飲むこともできる。建物は古いが、臭いもなくこざっぱりしていた。

病棟は3つの棟に分かれている。南棟と呼ばれる5階建ての建物は、最近改築が終了した。高齢者や要介護者用に車椅子対応の設備が整っており、風呂場には職員手作りのイスもあった。

急性期治療病棟は隣接の老健施設の3階にあり、新しく、廊下や病室が広い。また、ベッド毎にカーテンの仕切りがあり、設備面は充実している。保護室の近くにシャワー室もあった。

最も古い病棟は1966年に建てられた北棟で、2階部分が病棟、3階部分がデイナイトケアのフロアとなっている。病棟の廊下や病室は狭く、廊下を挟んだ北側は日当たりも悪い。10人部屋もあり、新しい病棟と古い病棟との格差が大きい。

#### ■スタッフ

常勤職員の平均年齢は、医師47.5才、看護者37.4才、PSW35.1才。

職員募集案内のパンフレットに『制服と私服あなたならどちらを選びますか?』という大きな見出しがある通り、実際服装は職員の自由にまかされている。

#### ■入院者の状況

入院者の半数近くが生活保護を受けている。分裂病率は75%。長期入院の慢性分裂病の人達が、1966年築の最も古い病棟に多くいる。

閉鎖病棟がなく、任意入院者閉鎖処遇率も0。病棟内での現金所持、ライター

所持は認められており、外出、外泊者数も多い。

今回の訪問時も、入院者が気軽に声を掛けてきて、入院生活状況を話されたり、保護室に入っている方でも「人権センターのこと教えてください」と質問してこられたり、日ごろからの自由で開放的な様子が十分に伺えた。

#### ■医療

昨年病棟を改築後、機能別に分類され、全棟男女混合になっている。救急患者に対しては、外部から直接救急室へ入れるように配慮されている。訪問看護ステーションが独立していて、月に延べ約300件訪問している。往診も行っている。デイナイトケアは古い病棟のワンフロアを改築し、広々としたスペースで行われている。

1996年東京精神医療人権センターで院内患者権利擁護相談を行った際、患者さんから最も訴えの多かったことは「入院直後、保護室でベッドに拘束されて点滴された」「怖かった」「孤独だった」との問題だった。病院側は治療的メリットについて語り、急性期の必要な場合は拘束して、薬物大量投与によって鎮静する治療を行っているとのこと。

#### ■この調査への病院側の対応

調査表を見てから受け入れるかどうか考えるということだったが、調査表を返った段階で、受け入れるとの返事をいただく。当日は、新旧の看護部長と、各病棟の見学は病棟の担当者が快く対応してくださった。

#### <コメント>

開放化がこれだけ定着しているにもかかわらず、全体の回転率が、前回95.8%から86%(都平均102%)へ、分裂病回転率が90.3%から67%へと下がり続けている。このことについては、「20年前から開放化に取り組んできて、退院可能な方は15、6年前にほとんど退院したため、今は大きな数字となって表れないが」と病院側は説明をされている。だが、果してそれだけではこの低迷状態を説明しきれないのではないだろうか。非常に疑問である。

しかしこの病院の自由で開放的な雰囲気は、先駆的に開放化を進めてきた歴史の積み重ねの結果であると評価したい。東京精神医療人権センターの院内患者権利擁護活動(ペイシェント・アドボカシー)のモデル事業を受け入れたのも今のところこのみである。モデル事業では、相談員が定期的に急性期病棟に入り患者さんに権利の説明をしたり相談を受けたりした。その際人権センターの提起した問題に対して病院側は、カルテに基づく説明、治療法をめぐるフランクな話し合いなどによって、真摯に応えた。

#### アンケート回答より

○車椅子用トイレ:有(外来、病棟)

○夜間休日診療:していない

○往診:している

○訪問看護:している(訪問看護ステーションにて実施)

○患者移送について警備会社の紹介:無

○入院希望者の病棟見学:可

○最大定数病室のベッド数:10人

○保護室のナースコール:有の病棟と無の病棟がある

訪問調査に協力していただいた35病院陽和病院

# 第4刊の陽和病院の頁その2

# 第7刊'13年統計に基づく陽和病院

## 陽和病院

医療法人

措置・応急入院指定

練馬区大泉町2-17-1

TEL 03-3923-0221

精神科病床：7病棟396

専門病床：精神科救急 48 急性期治療 50 老人精神

104開放病床 128 閉鎖病床 268 保護室21

デイケア・ナイトケア・デイナイトケア実施

総合点 24点

2008年と比べると、活動性については、平均在院日数220日から127日、統合失調症入院者についても261日から141日へ、1年未満入院者率40%から58%へ、5年以上入院者率32%から22%へと全ての指標で点数を上げている。スタッフ数についても、医師が11人から19人、コメディカル17人から22人、看護師139人から179人と増えている。

病床数を444床から396床に減らし、精神科救急、急性期治療病棟を新たに開棟、開放病床を273床から128床に減らしている。それに伴い、任意入院者は、50%から45%に減り、任意入院者の閉鎖病棟入院率は、27%から57%に増えている。隔離患者数が21人、6%（都平均3%）と多い。

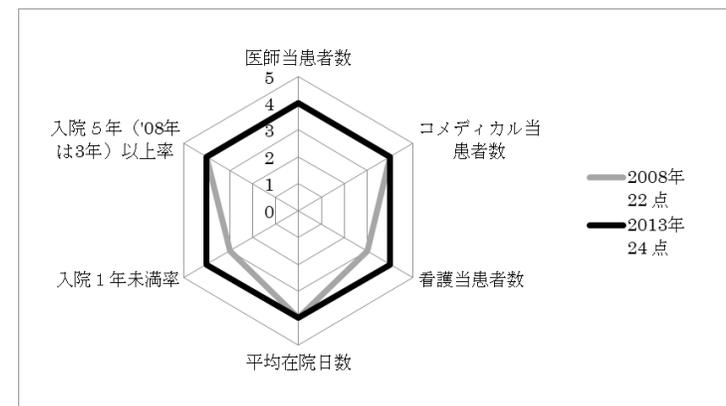
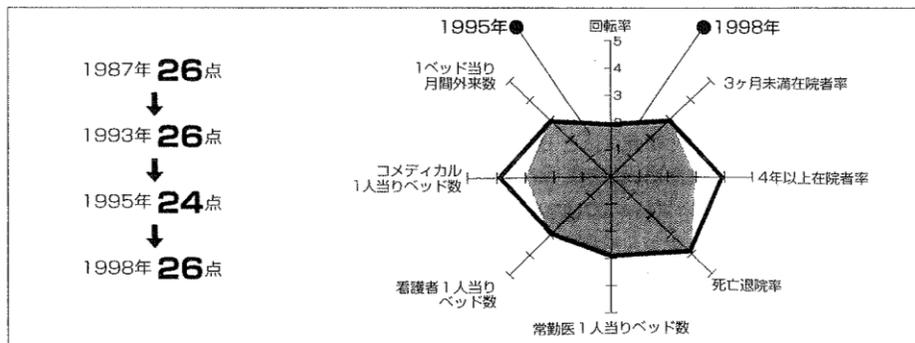
ホームページによると、クリニックを1カ所、グループホーム2カ所を運営している。（赤字の部分が2017年以降、非公開となった）

訪問調査に協力いただいた35病院 ■陽和病院

- 差額ベッド：無
- 薬剤師の服薬管理指導：有の病棟と無の病棟がある
- ベッド抑制マニュアル：有
- 鍵付き個別ロッカー：有
- 面会室：無
- 病室での面会：可の病棟と不可の病棟がある
- 友人・知人の面会：可
- 食事選択メニュー：無
- 入浴回数：週2～3回
- 入浴時以外のシャワー利用：可

### 〈病院からのアピール〉

- ・閉鎖の急性期治療病棟36床と休息静養病棟34床で2対1のマンパワーの配置でそれなりの密度の治療看護を提供できていると思います。
- ・デイナイトケア、訪問看護ステーション等による在宅支援で再入院ケースが減少してきていると思われます。



# 長年病院統計を見てきて・・・

- 年を追うことで見える個々の病院の変化 全体に職員数は増え、平均在院日数は短くなってきた。
- 陽和病院のみならず、積極的な病院は救急や急性期病棟を設け、開放率が下がってきている。全閉鎖の病院も増えている。
- 一方で、旧態然とした長期収容型の病院群との二極化。青梅地区の病院の後方病院化
- 入院先を選べない措置指定病院の質のばらつきは問題
- 一貫して院内死亡の多い(年間退院の60%以上)滝山病院の問題  
などなど